　　11月　　　**私だけのりを見つけましょう**

**24 (月)**

みことば　私の福音とイエス・キリストのによって、すなわち、に

ローマ16:25～27　わたって長い間されていたが、今やわされて、の神のに

い、たちの書によって、のにくためにあらゆる

国の人々に知らされたのによって、あなたがたをく

立たせることができる方(25～26)

神様に用いられた人々は、すべてみな「私だけのり」を持っていました。ダビデはをっているときに、を作りながらりました。ヨセフは、いそがしく仕事をしながらりました。パウロは、弟子たちに手紙（）を書いてりました。ルターは、神様をしながらりました。らのように、レムナントのみなさんも、私だけのりを味わいましょう。

１．私だけのりは何であるのか発見しましょう

神様がくださったを味わうのがりです。また、りは神様が本当にんでおられるいがなされるようにささげることです。多くのを私の力と私のですることはできません。それで神様の子どものとを私のにふさわしく使わなければなりません。これがまさに「私だけのり」です。

２．私だけのりを味わう時、もっともせです

は、イエス様がキリストだというをにぎりました。それで、どんなこともにならなかったのです。神の国がむをしたので、ゆれることもありませんでした。レムナントのみんさんのに大きながあるのでしょうか。のようににたされる私だけのりをすれば、もっとも大きいせを味わえます。

３．私だけのりを始めればが起こります

神様は子どものりを聞いてくださいます。神様はレムナントのりになを起こしてくださいます。今から私だけのりを始めてみてください。レムナントのと、そして、すべての人生におどろくことが行われるでしょう。神様が私とともにおられるをりでずっと味わってみてください。そうすれば、他の友だちにするほどの大きい答えがれます。



私をえた神様のを発見させてください。私の力にたよるのではなく、神様の力をさせてください。人々のについて行くのではなく、神様が見せてくださった私だけのりを味わうようにいてください。イエス様のお名前によっておりします。アーメン



　エジプトをえてのを味わいましょう

　神様はレムナントヨセフをかれました。エジプトにとして売られて行ったの

ですが、エジプトをえて、の答えを味わうようにかれたのです。

神様は私の人生をどのようにいておられるのか、心に絵をかいてみましょう。

で書いてみましょう。それか、を作ってみましょう。

　今の私の、私の

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　この世の人の前で神様に

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　をしているの私の

れきし きろく

　　11月　　　**私だけのを見つけましょう**

**25 (火)**

みことば　　こののことばをする者と、それをいて、そこに書かれて

いることを心にめる人々はいである。時が近づいている

黙示1:1～3　からである。(3)

「いったいどんななのかわからない」イザヤのを読んでいたエチオピアのは、とてもじれったく思いました。ちょうどそのとき、にかれたピリポがにやってきて、をしてあげて福音を伝えました。レムナントのみなさんも、ピリポのように、にかれる「私だけの」を発見してみましょう。そうすれば、エチオピアののようなえられたたましいを生かすことができるでしょう。

１．にかれるで体験しなければならないこと

レムナントがにかれれば、神様がもっともよろこばれるに行くようになります。そのに行けば、わえることにめられたたましいと会うようになります。そして、にいていたサタンのがくだかれて、にさえられた人々が生きります。

２．にかれるで見なければならないこと

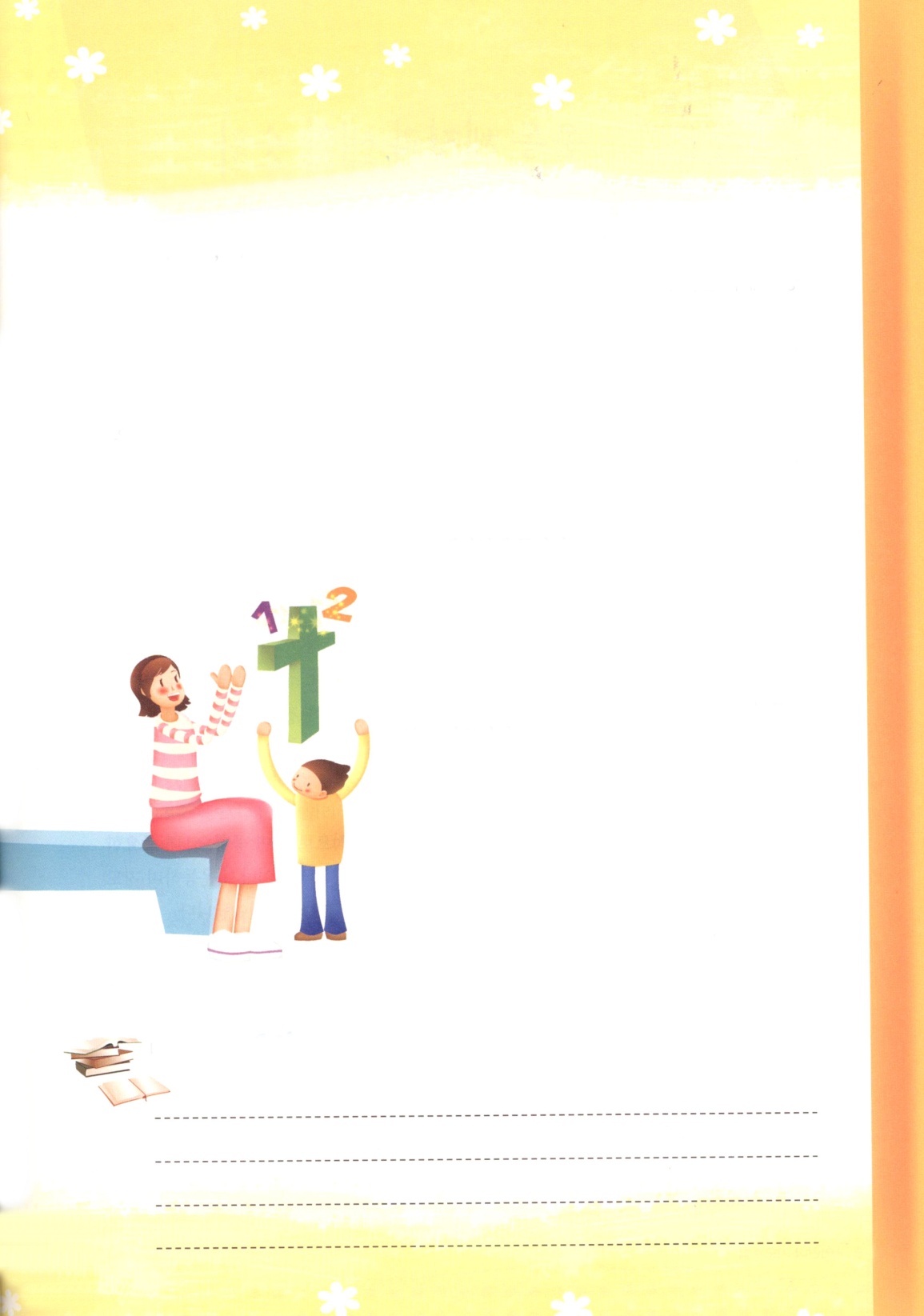
私のにぴったり合うとりのを見つけて味わえば、で何が見えるようになるのでしょうか。に、神様が私とともにおられて、までかれるというが見えるようになります。二つ目、るレムナントに神様が天のとみ使いを送ってくださってかれるのを見ることができます。三つ目、イエス・ キリストのの力でサタンのがくだかれるのを見ます。

３.私だけのを見つければおどろくことが見えるようになります

私だけのをみつけたローマ16の弟子たちは、というりのとのがじました。神様がされたとなみことばがじました。どんな場合にも、神様だけにをすというもっともなレムナントのがじるを味わいましょう。



神様がいちばんっておられるをることができるようにしてください。にかれて、私のである(　　　　　　　　　　)に福音をつたえると福音を受けると出会うことができるように、いてください。私が行くごとに、答えられるイエス･キリストのお名前によっておりします。アーメン



私だけの

こんにちは。みなさんに「私だけの」をお話ししようと、このように

を書きます。

2007年、30人ほどの子どもたちといっしょに、グローリーレムナントスクールを

はじめました。私はこの時、コヤン市に向かった神様のを見つけたように思います。

子どもたちと毎日タラッパンをしながら、福音の根をどんどんおろしただけなのに、

コヤン市のあちこちによいうわさが立って、の子どもたちが私たちのグローリー

レムナントスクールに入ってくるようになったのです。

私たちのグローリーレムナントスクールは、先生がいっしょに集まって、「私だけの

１」をめました。それは何でしょうか。まさにりなのです。そして、私は

「私だけの２」をめました。未信者の子どもたちに、おもしろいお話をして

あげると言いながら、人間が神様をはなれるようになった3のを話して

あげたのです。そうしたら、子どもたちは、おもしろいと聞いて、イエス様に会いたい

と話しました。そして、私はその時、受け入れる

りを私のあとについてしたのでした。

そう、この前には、こういう事がありました。

7才の子どもたちといっしょに見学に行ったの

ですが、私たちの子どもたちが他のの子ども

たちにイエス様をえたのです。どれくらいで

うれしかったでしょうか。本当にうれしくて、

を起こしそうなほどでした。

ここまでが、私の話です。みなさんもみなさんの

にぴったり合うみなさんだけのを

見つけてみてください。に、こので

することができるようにされた神様にを

おささげしながら、文を終えます。

文・ムン・コウン、イルサンヨンガン教会付属グローリーレムナントスクール教師

れきし きろく

　　11月　　　**と**

**26(水)**

みことば　をみ、目をさましていなさい。あなたがたのであるが、

Ｉペテロ5:7～8　ほえたけるししのように、食いくすべきものをしめながら、

歩き回っています。(8)

するの首にかかっている金メダル、メダル、メダルの色はすべてちがいます。しかし、のときからをしてしたののしずくは、みんな同じようによいでしょう。レムナントがに、に、でいようとするなら、どのようなをすべきでしょうか。

１．よゆうがあるをそろえましょう

にをすれば、心までそうになります。しかし、まず先にそろえなければならないがあります。時間のよゆうを持ってしてこそしません。そうじをして、、だけでもよくしても、によゆうができます。他の友だちのことを考えてあげる考えのよゆうまでそろえられます。

２．より生活のをそろえましょう

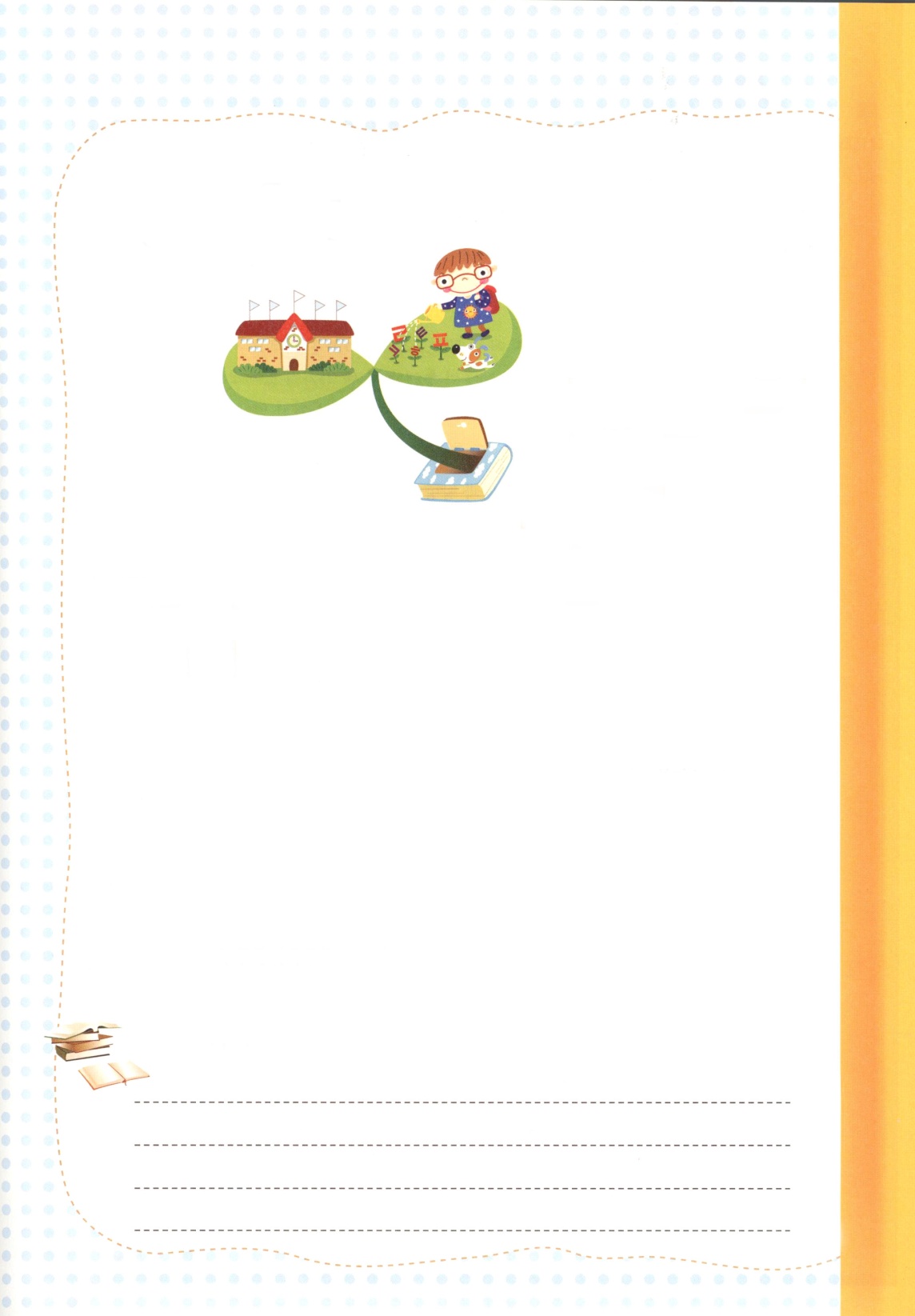
、をしようとするのですが、なぜ◆で終わるのでしょうか。生活をあるようにえるのがです。りやをする時も、れにしたがってリズムにれば、にできます。同じように生活のがどうなのかにしたがって、なまけるのか、なのかがされます。それで、いそがしくて多くの事をする中でも、私を育てる生活のをそろえなければなりません。

３．でなを守りましょう

は肉体のとが深いのです。それでをにすればよいのです。さらになのは、がなとも大きながあるということです。朝早く起きて、しながらってみましょう。からだと心のを守る子どもが、まことのレムナントのモデルだということです。

◆:したことが三日続かなくて、やめてしまうこと。

神様にします。私の悪いである（　　　　　　　）を直して、生活のをそろえることができるように毎日、（　　　　　　）ので、肉体と心のを守ることができるようにしてください。いつもにしてくださるイエス･キリストのお名前によっておりします。



　　　　　すきな絵をかきましょう

　　　＊はクロスワードパズルでしたが、ではしいのでしませんでした。

れきし きろく

　　11月　　　**３つのことがじるべきです**

**27(木)**

みことば　　さて、ダマスコにアナニヤという弟子がいた。主が彼に幻の中で、

使徒9:1～15　「アナニヤよ。」と言われたので、「主よ。ここにおります。」と

答えた。(8)

子どもと親との年のは、とても大きいです。そして、つもそれぞれちがいます。やきなこともちがいます。しかし、福音にあってじなければならない３つのことがあります。そして、のためにレムナントとがおたがいにじなければならない３つのことがあります。

１．がじなければなりません

を正しくできなければ、神様と方向が合いません。をできいまま、ほかの事をにしても、とんでもないむだなことになってしまいます。レムナントとが、でがじれば、まことのを味わうことができます。神様はに方向を合わせる者に、いが定められている人に会えるようにでいてくださいます。

２．まことのがじなければなりません

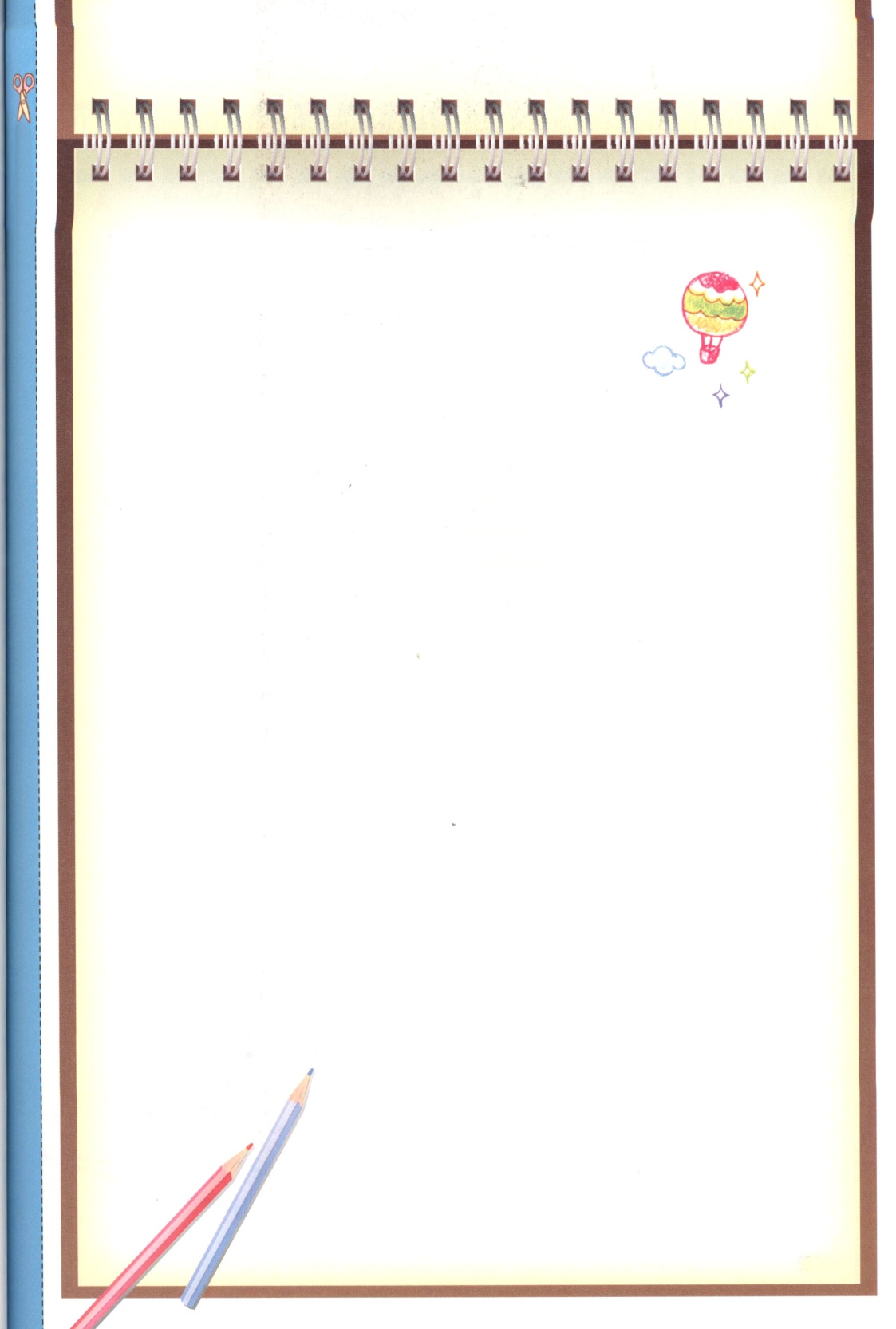
を見れば、イスラエルのがをった時は、他のまでみを受けました。しかし、に対するをのがした時は、他の国にで、で引きずられて行きました。を受けてするか、そうでなければといでするかということが、を正しくするか、そうでなければよくわからないかによってされるのです。それで、レムナントとがまことのをってこそ、国とが生きかえります。

３．レムナントとはのきがじなければなりません

はシャーマニズムやのようなでぎっしりうまっています。それで、を福音で生かすする地教会がです。暗やみのはがある世の中のをして子どもさせてに病気になるようにさせます。それで、はやくレムナントが集まって、いっしょにって、インターンシップをして、福音を作るレムナント(RUTC)がなのです。

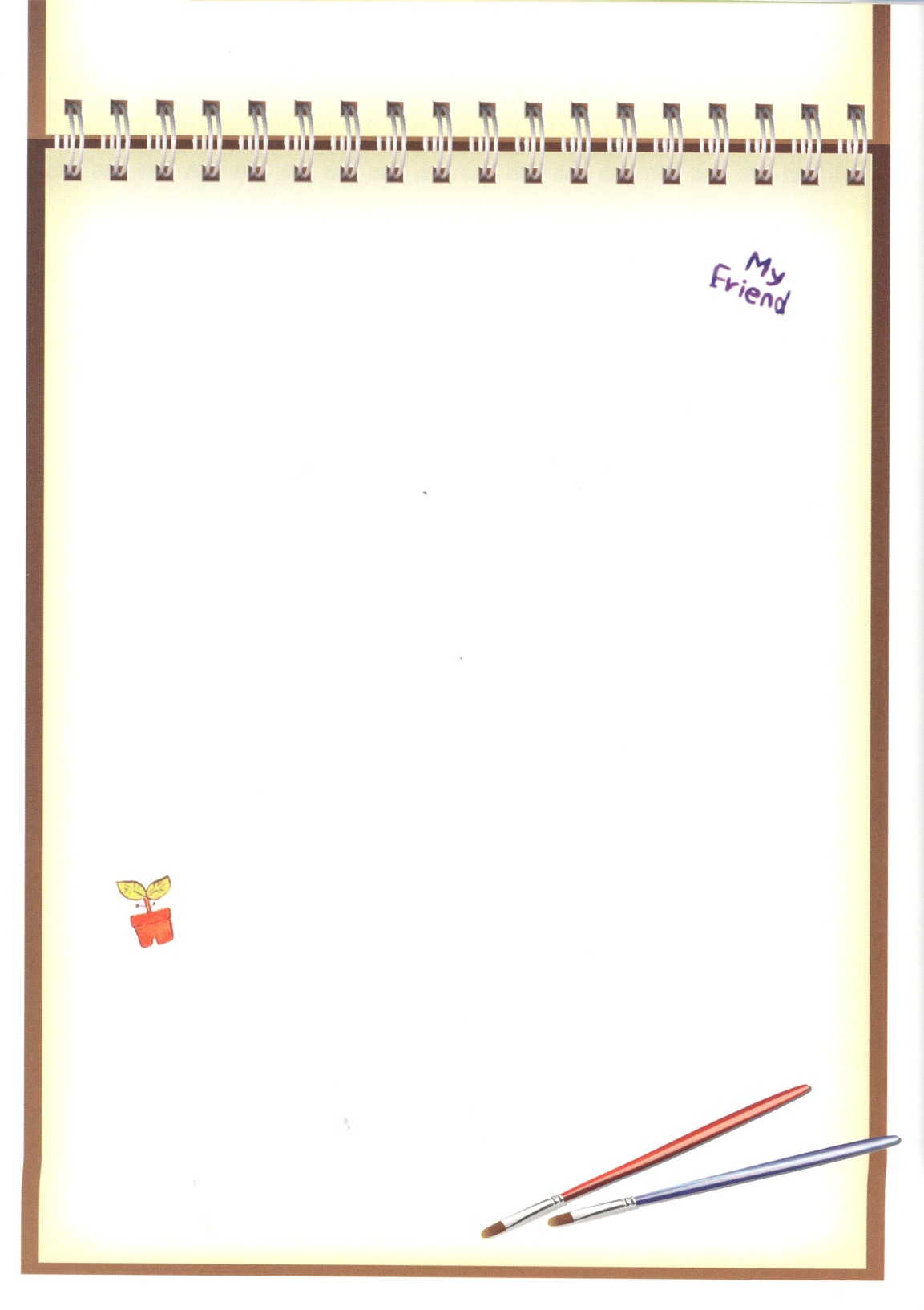


神様、ととがどれほどなのか、とレムナントのな目を開けてください。で神様のみと神様のきを見ることができるようにしてください。生きておられるイエス･キリストのお名前によっておりします。アーメン



　　　　　私だけのトラクトを作って福音をえましょう





　　11月　　　**にが来たとき**

**28(金)　どのようにすべきでしょうか**

みことば　　アンナスはイエスを、ったままでカヤパのところに

ヨハネ18:19-27　送った。(24)

神様が一番に答えてくださるは、なんでしょうか。ふだんに福音の目を大きく開けて、みことばをにぎって、ることです。しかし、私たちはすぐにをれてしまいって、ゆれる時が多いのです。それで、やが来たときごとに思いだすべきことがあります。

１．福音の中にに入りましょう

だれでも、少し病気になったり、まずしくなったりします。しかし、が病気で苦しんだり、まずしさからぬけ出すことがでなくて、ぬすみまでしなければならないならば、これは明らかにサタンのきです。このを本当にしようとするなら、福音の中へに入らなければなりません。イエス様がキリストとして来られて、私と私たちのとのすべてのをしてくださらなければなりません。

２．神様がくくださったみことばをにぎりましょう

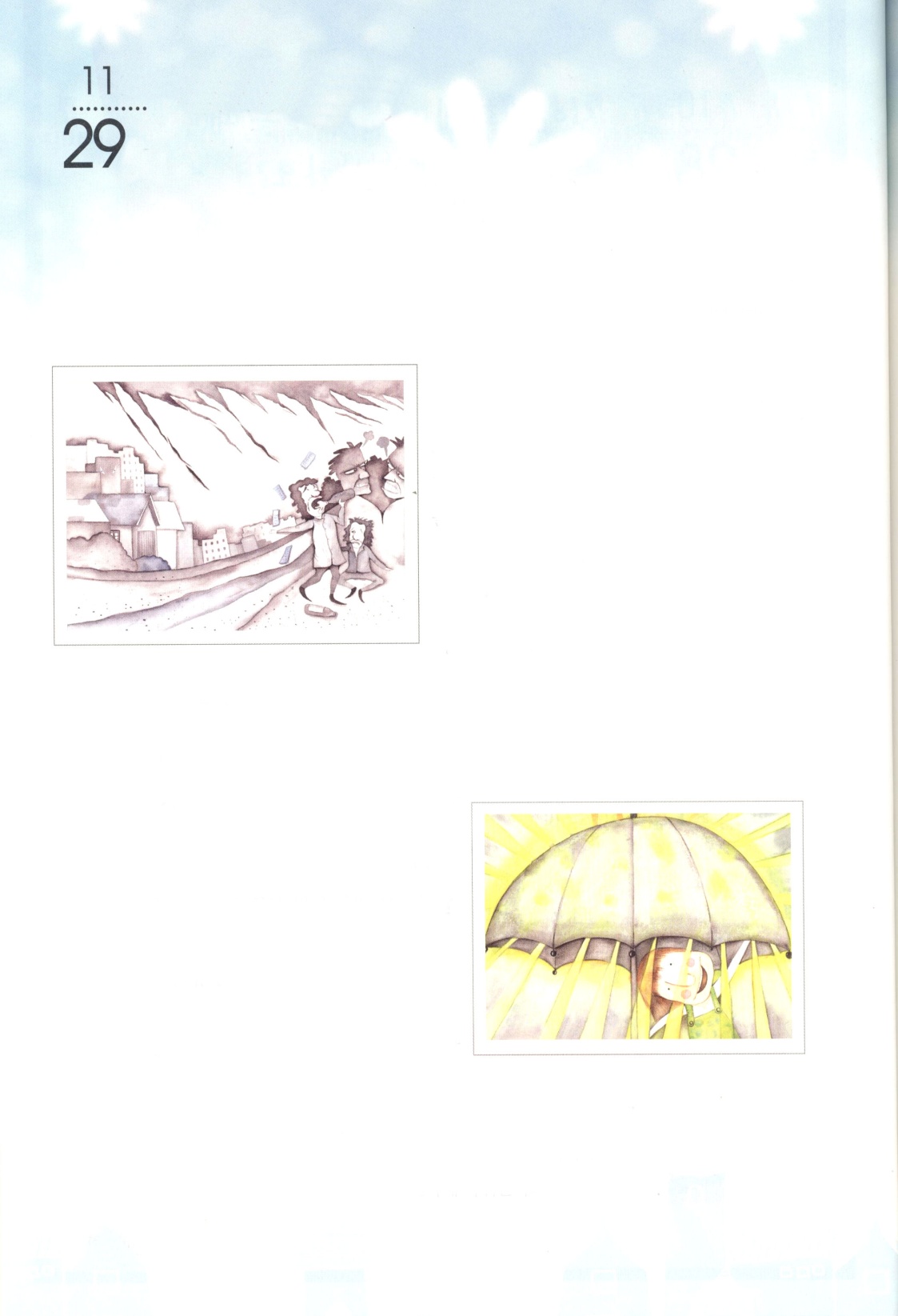
神様は、まず先にみことばをくださり、そのみことばをにさせてくださいます。それで、いつものみことばをにぎる時ごとに、すべてのことにしました。のの中にあったも、されたみことばをにぎってった時、様がたすようにまれました。教会のように、レムナントもみことばをにぎってすれば、できる大きい力を受けます。

３．をを受けるにえましょう

うそが本当のに勝つことはできません。神様がくださったの本当のは、イエスがキリストだという福音です。どんなとサタンのにも、福音のをにぎっていればかならずします。福音の目で見れば、ひどいの中でも大きいを受けるが見えます。福音を持ったレムナントは、をのにえるです。



福音だけにぎればするというみことばをじます。力のみことばをにぎる時に、サタンはぶるぶるとふるえてげて行くという事実をじます。だれも助けてくれなくても、をのにえることができると、心からじます。イエス･キリストのお名前によっておりします。アーメン



　　　　　　月

　　　　　　　　　おはなし

　　　　　　（土）

いをふせぐ

ピリピ2:1～4　でもやからすることなく、へりくだって、いに人を

自分よりもすぐれた者と思いなさい。 自分のことだけではなく、他の人の

こともみなさい。(3～4)

「オイ、もう! 思いきりもうぜ。

今日はおれのおごりだ!」

やみのは、長いやみに、小さな光まで

その力を失ってしまいました。まぶしく見え

るキラキラしたですが、の中で、

人生をあきらめた人々は、心がむくまま

をしんでいました。

「おじさん!　ちょっとを買ってください」

しとしとと雨がふる今日も、ユウウツくんは、を売っていました。

「また、何だって!　あっちに行け!」

おによっぱらった人々は、からだをえることもできないまま、とてもうるさいと

いう目でユウウツくんのからだをしのけてしまいました。

「あれ、子どもなんだね!　を引くだろう!　はやくこのを使いなさい」

はじめて見たおじいさんが、みずぼらしい

古いをしてくれました。ユウウツくんが

ためらいながら、を広げたら、ふしぎなことに、

ユウウツくんの心をめるように、明るい光が

さしてきました。暗くなってきていた心に、

よろこびがわいて出てきました。

「ウワー、本当にふしぎなだな」

そして、雨をけるためにユウウツくんのの

中にびこんできた、翼（はね）をった鳥は、がよくなりました。

「あのおじいさんはだれなの!　うるさく言わずに、あちらに消えろということなの!」

人々はおじいさんがタダ（無料）でしてくれるをにげてしまいました。しかし、ユウウツくんだけは、このがやみのを明るくえてくれるとかたくじました。



「そのようなある日、のおじさんがすてきなをはめこんだを作ってり

はじめました。多くの人々が高いお金をはらって、ですてきなをっていきました。

しかし、そのは、時間がすぎるほど雨がもれてきて、がどんどん大きくなりました。

やみのの人々に何がなのでしょうか。をあたえるおじいさんのがです。

「おじいさん、ボクもこのをに分けてあげますね」

ユウウツくんのには、びがいっぱいでした。いつのまにか、やみのは、どん

どん光のにわっていきました。

レムナントのみなさん。すばらしくんであるでは、に人生のをすることはできません。人間におとずれるのろいといをすることはできません。この世ののろいといをぐは何でしょうか。それが、イエス・キリストのなのです。神様はのおろかさをしていのちを生かすことをんでおられます。私たちがすべてやみの中で苦しんでいる人々に、キリストのをえる者になりましょう。

人を生かすなら、どうすればよいのでしょうか

１．ぺきな福音を味わいましょう

ピリピ4章13節に「私は、私を強くしてくださる方にあって、どんなことでもできる

のです」というみことばがあります。世の中、苦しみ、、、をえる

福音をにぎって味わってみましょう。その中で、、、深いりで大きい力を

受けなければなりません。

２．神様がわれているところにいなければなりません

ピリポ、アナニヤ、コルネリオの家、マルコのの、アンテオケ教会にがん

でされたは、なんでしょうか。神様がもっともんでおられる「人を生かす」

だったからです。私の、私のり、私のについて考えるだけでもみわざが起き

ます。

３．神様のなの中に入っていきましょう

神様がこのにもっともんでおられることは何でしょうか。私がいるで福音を

味わいながらることです。